



濱田 環（はまだ たまき）

高22期

元登美丘高等学校体育科教員



登美丘高校とともに、四半世紀

22期生として3年間、体育教員として23年間、登美丘高校でお世話になりました。

身近で母校を見てきた者として母校の魅力を伝えたいと思います。

時にはせめぎ合い、高め合い、時には認め合い、譲り合う、この加減が実によくできています。いわゆる「ええ、かげん」です。この「ええ、かげん」こそ、登美丘高校の魅力だと思っています。だからこそ、明るく楽しく伸び伸びと学園生活を過ごすことができるのだと思います。

この「ええ、かげん」は、今のゆとりのない、何かギスギスした社会にとって大切なものだと思います。その加減を、共に学ぶ中で身につけていきます。だから清々しいのです。

校歌の一節にある『清々しい登美丘我らの母校よ』を体現してくれます。

この魅力を、これからの人生に大いに発揮して欲しいと願っています。

100周年を迎える母校の魅力は、母校に携わった生徒、教職員、周辺の人達などが作り上げてきたかけがえのないものです。これからの我が母校が、いつまでも変わることのない清々しさで魅了し続けてほしいものです。

私も希を忘れず、「ええ、かげん」に残された時を歩んで行こうと思っています。

その魅力、常であれ！永遠であれ！

■プロフィール

1955年8月19日生

1973年3月 大阪府立登美丘高等学校卒業

1977年3月 大阪教育大学教育学部卒業

1998年4月 大阪府立登美丘高等学校体育科教員として赴任

2021年3月 大阪府立登美丘高等学校体育科教員退職（23年在職）